

お客様用

**トヨタ純正**

## オールシーズンシェード 取扱書

このたびはトヨタ純正「オールシーズンシェード」をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。

### 取り付け上の注意事項

この取扱書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。



**警告**

… 警告事項を守らないと生命の危機、または重大な傷害につながる恐れがあることを記載しています。



**注意**

… 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたりする等の恐れがあることを記載しています。

**注意**

… 注意事項を守らないと車両や装備品が破損する等の恐れがあることを記載しています。

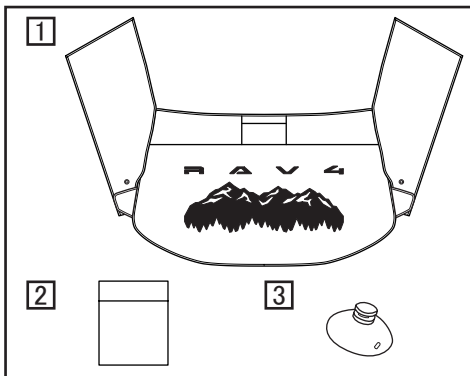


**アドバイス** … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

### 品番

08373-42010

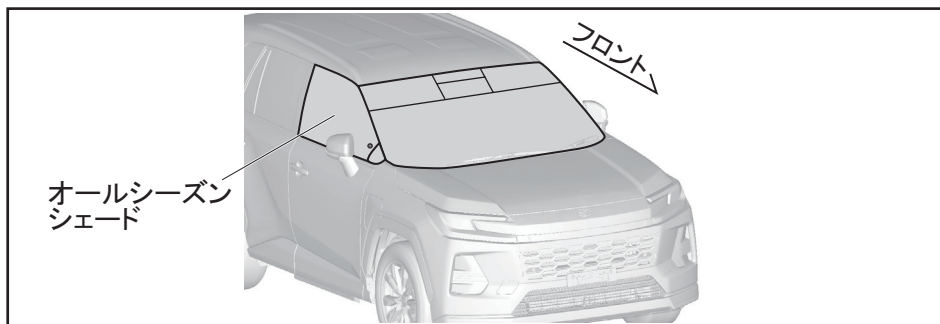
### 構成部品



No.	品名	個数
①	オールシーズンシェード	1
②	収納袋	1
③	吸盤	2

**トヨタ自動車株式会社**

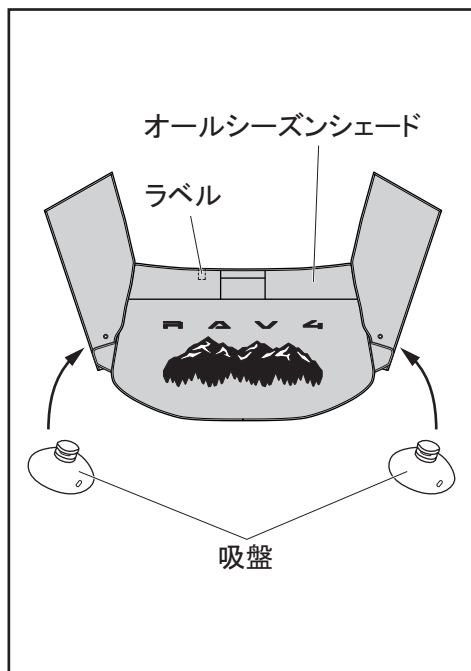
## 取り付け概要



## 取り付け要領

### 注意

- ・指定の取り付け場所以外には取り付けないでください。
- ・風が強い時、または豪雪地帯での使用はおやめください。破れ等破損の原因になります。



### 事前準備

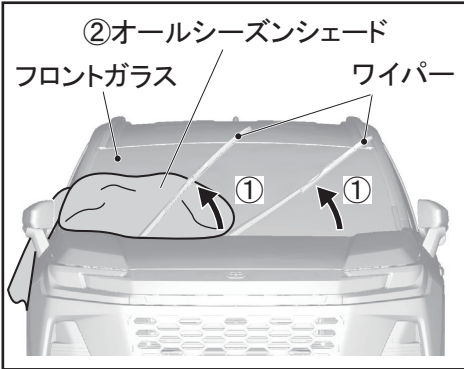
- ・オールシーズンシェードには固定の補強用に吸盤が添付されております。
- ・風の煽りが気になる場合は吸盤をご使用ください。
- ・吸盤は袋から取り出し、オールシーズンシェード裏側に取り付けてご使用ください。(2ヶ所) 生地裏側にはラベルがあります。

### アドバイス

吸盤は回しながら取り付けると取り付けやすくなります。

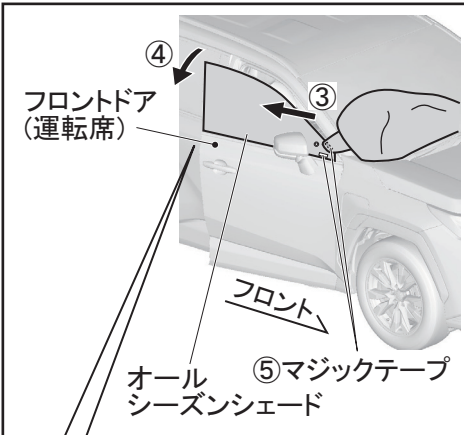


左右同じ要領にて取り付けてください。



① フロントガラスのワイパーを立てます。

② オールシーズンシェードをフロントガラスに載せます。

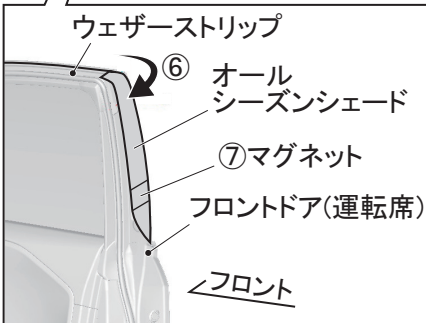


③ オールシーズンシェードをフロントドア (運転席側) に広げます。

④ フロントドア (運転席側) を開きます。

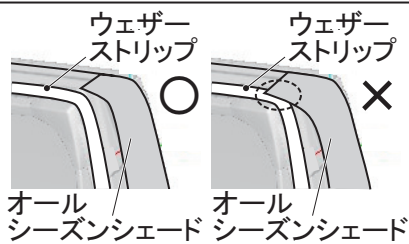
⑤ オールシーズンシェードのマジックテープを外します。(1ヶ所)

⑥ オールシーズンシェードの左側の角をフロントドア (運転席側) に引っ掛けます。

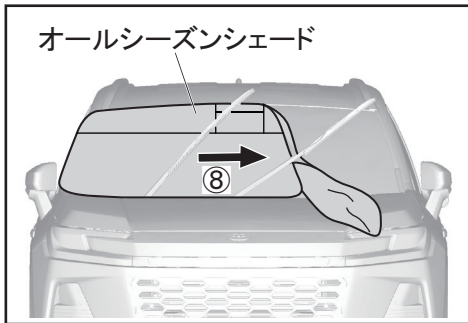


## 注意

フロントドアに引っ掛ける際、オールシーズンシェードがウェザーストリップに被らないようにしてください。雨水等が車内に浸入するおそれがあります。



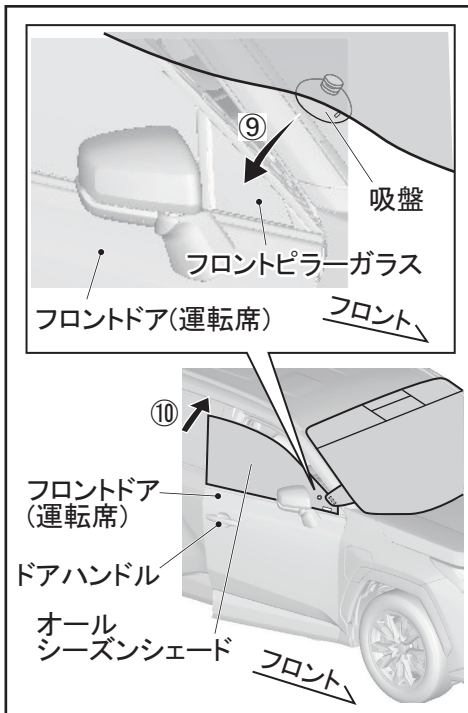
⑦ オールシーズンシェードのマグネットをフロントドア (運転席側) の内側に貼り付けます。



⑧オールシーズンシェードを広げます。

### 注意

オールシーズンシェードを勢いよく広げないでください。吸盤穴部のリングがフードやフロントガラスに当たり、傷が付くおそれがあります。



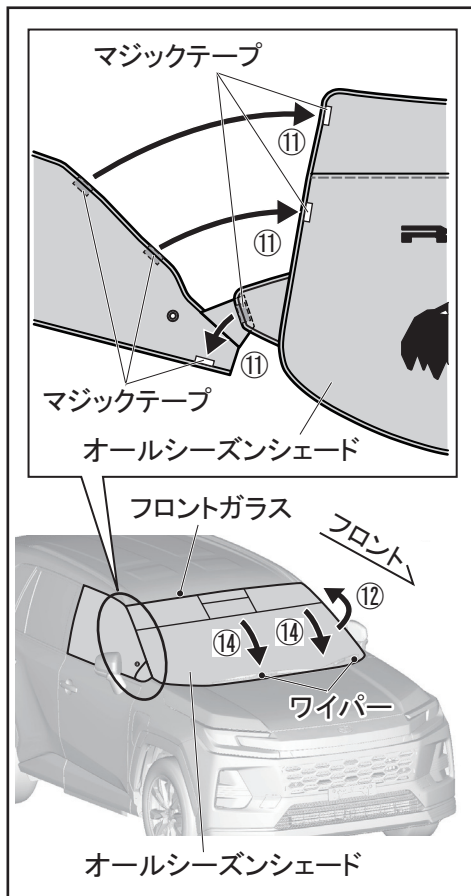
⑨左図を参考に、オールシーズンシェードに取り付けた吸盤をフロントドア(運転席側)のフロントピラーガラスに取り付けます。

※吸盤を使用する場合

⑩フロントドア(運転席側)を閉じます。

### 注意

フロントドアを開閉する際、ドアハンドルを持つようにしてください。手や指を挟むおそれがあります。

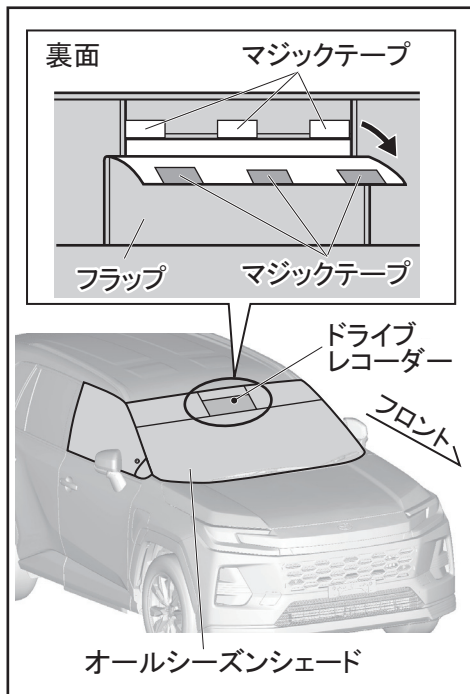


⑪オールシーズンシェードのマジックテープを貼り合わせます。(3ヶ所)

⑫オールシーズンシェードをフロントドア(助手席側)へ広げます。

⑬フロントドア(助手席側)を④～⑪と同様の手順で取り付けます。

⑭フロントガラスのワイパーを降ろし、オールシーズンシェードをおさえます。

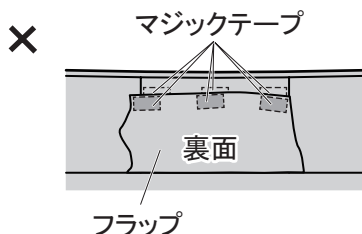
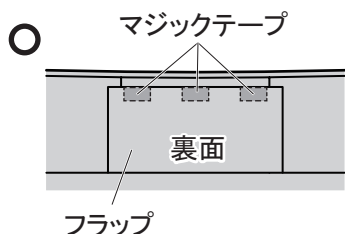


■ドライブレコーダー(トヨタ純正品)を使用する場合

オールシーズンシェードを被せたままドライブレコーダー(トヨタ純正品)を使用する場合は、オールシーズンシェードを取り付ける前に上部裏面のマジックテープを外し、フラップを開きます。

注 意

- ・オールシーズンシェードのフラップを閉じる際は、マジックテープがずれないように貼り付けてください。マジックテープがずれていると、車室内に光が入り込み、オールシーズンシェードとしての機能を阻害する可能性があります。



## 取り外し要領

- ・オールシーズンシェードを取り外す際は、取り付け要領と逆の手順にて取り外してください。

### アドバイス

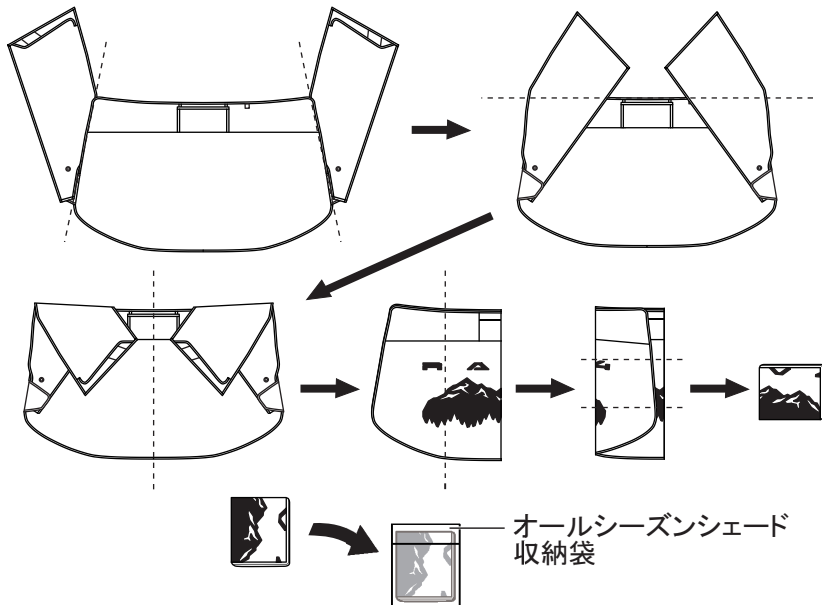
- ・オールシーズンシェードを取り外す際は、生地をめくり吸盤の端を爪でめくり、ガラスから外してください。生地のみを引っ張ると吸盤が生地から外れてしまう可能性があります。
- ・吸盤が外れてしまった際は、P.2の取り付け要領を確認し、再度取り付けてください。



## 収納方法

- ・オールシーズンシェードを収納する際は、生地を折りたたみ収納袋に入れて大切に保管してください。
- ・オールシーズンシェードが雨などで濡れた場合は、収納袋に収納する前に乾かしてください。
- ・吸盤を外して保管する際は、なくさないよう注意してください。

### <オールシーズンシェードのたたみ方>



## 取り扱い上の注意事項

### ⚠ 警告

- ・車両走行時には必ずオールシーズンシェードを取り外し、視界を確保してください。視界が悪いまま走行すると運転の妨げになり、思わぬ事故の原因となり危険です。

### ⚠ 注意

- ・火気の近くや、高温になる所では使用しないでください。製品の破損や、火災等、事故のおそれがあります。

### 注意

- ・オールシーズンシェードは縫製品の為、無理な力を加えたり、引っ張ったり、伸ばしたりすると、破れたり、縫い目が解けるおそれがあります。
- ・突起のある物や鋭利な物に触れたりすると、破れ等の原因になるおそれがあります。
- ・オールシーズンシェードにベンジン、シンナー等の有機溶剤は使用しないでください。
- ・汚れを拭き取るときは、適度に薄めた中性洗剤または水を含ませた布で拭き取ってください。
- ・フロントピラーガラスに砂やホコリの付いた状態で装着しないでください。吸盤にキズが付き吸着力の低下または付かなくなることがあり、ガラスにもキズが付く場合があります。
- ・フロントピラーガラスにキズが付いていると吸盤が付きにくく取れやすくなる場合や付かない場合があります。
- ・吸盤が変形して付きにくい場合は、吸盤のみ熱湯(約70℃)に5～6分間浸すと復元できます。
- ・オールシーズンシェードを取り付けている状態で、ワイパーの操作はおやめください。ワイパーが故障する恐れがあります。
- ・積雪の際は、オールシーズンシェードごと凍ってしまう場合がありますので、使用をお控えください。
- ・車両から取り外す際、生地のみを引っ張って吸盤を取ると、生地の破れ等破損の原因につながります。吸盤の取り外し用突起を持って取り外してください。
- ・ご使用にならないときは、きれいに折りたたんで保管してください。



### アドバイス

- ・フロントガラスへの固定は、生地にダブつきがないように取り付け、上からワイパーで押さえてください。隙間から風が入り込むことでめくれが発生し、効果が減少するおそれがあります。
- ・吸盤が寒さで固まって付きにくくなる場合があります。手でほぐしたりすると付きやすくなります。